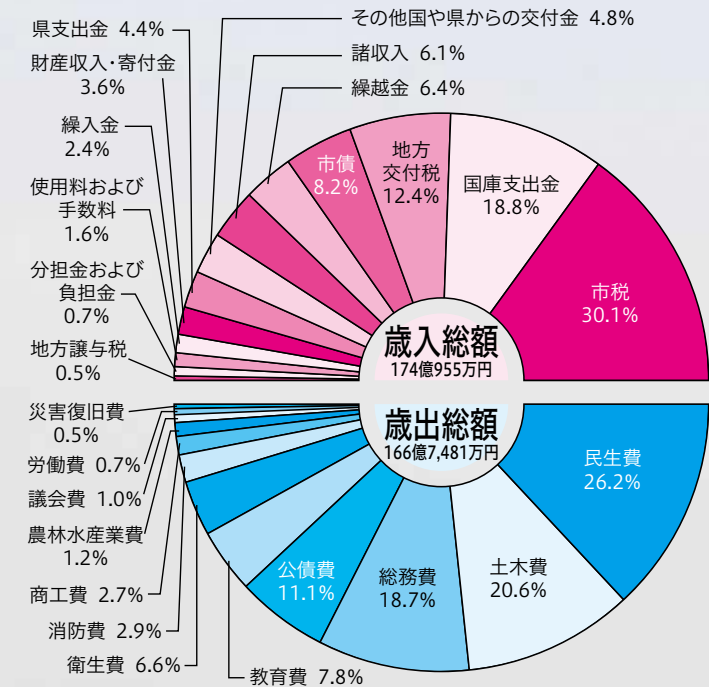


【グラフ1】



【表2】

内 訳	決算額
民生費 生活保護や児童・高齢者などの経費	43億7,502万円 (56億9,629万円)
土木費 道路、河川、港湾、市営住宅、公園などの経費	34億3,270万円 (26億9,537万円)
総務費 市の全般的な管理事務経費、支所、選挙などの経費	31億1,229万円 (30億7,399万円)
公債費 過去の借入金の返済金	18億4,741万円 (17億5,486万円)
教育費 小・中学校の運営や社会教育などの経費	13億395万円 (9億3,127万円)
衛生費 衛生的な生活環境を守るための経費	10億9,187万円 (12億1,172万円)
消防費 消防・救急業務や災害対策の経費	4億7,843万円 (4億8,169万円)
商工費 商工業の振興や観光宣伝などの経費	4億5,584万円 (4億9,111万円)
農林水産業費 農林業や水産業の振興などの経費	2億605万円 (2億7,923万円)
議会費 議会の活動にかかる経費	1億7,001万円 (1億7,709万円)
労働費 労働者の生活安定や福利増進事業などを行うための経費	1億2,000万円 (1億2,000万円)
災害復旧費 災害復旧にかかる経費	8,124万円 (454万円)
総 額	166億7,481万円 (169億1,716万円)
形式収支（歳入決算額－歳出決算額）	7億3,474万円
令和5年度へ繰り越した財源	6億4,183万円
実質収支 (形式収支－令和5年度へ繰り越した財源)	9,291万円

大竹駅周辺整備事業などの大規模事業を行うための財源として市債（借入金）を発行しています。全会計の借入金残高は、一般会計や土地造成特別会計の借入金残高が減少するなどして366億円から359億円に減少しています。【グラフ2】

【用語解説】
財政調整基金：年度間の財源の不均衡を調整するための貯蓄。財源が不足した年度は取り崩し、黒字決算の場合は、剰余金の半分以上を積み立てます。

借入金残高7億円減

市議会に提案した各会計の決算額は、表1のとおりです。

令和4年度に一般会計に入ってきたお金（歳入）と、使ったお金（歳出）との差し引きは、7億3474万円です。令和4年度に予定していた大竹駅周辺整備事業などを翌年度に行うことになり、その事業に必要な財源6億4183万円を差し引いた9291万円が令和4年度に残ったお金です。このうち、5000万円を財政調整基金に積み立てました。

【表2・グラフ1】

5千万円を積み立て

一般会計

歳入174.1億円

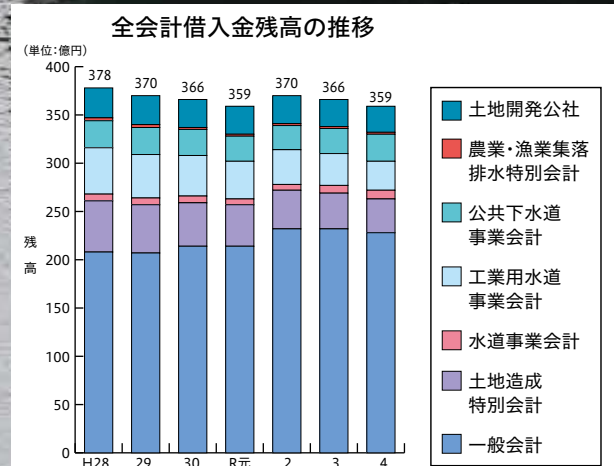
歳出166.7億円

決算は、私たちが納めた税金や国・県からの補助金などのお金の使い方をまとめたものです。

令和4年度決算公表

問い合わせ 企画財政課 ☎592121

【グラフ2】



※土地開発公社の若国大竹道路関連特別会計は除きます。

【表1】 令和4年度会計別決算額

		歳 入	歳 出	差 引
一般会計	福祉や教育、道路整備など市の運営の中心となる会計	174億955万円	166億7,481万円	7億3,474万円
特別会計 特定の事業 について特 定の歳入を もって行う 会計	国民健康保険	29億3,642万円	29億1,696万円	1,946万円
	漁業集落排水	3,221万円	3,221万円	0円
	農業集落排水	4,084万円	4,084万円	0円
	港湾施設管理受託	7,597万円	4,991万円	2,606万円
	土地造成	2億1,557万円	8億6,595万円	△6億5,038万円
	介護保険	27億280万円	26億7,359万円	2,921万円
	後期高齢者医療	5億2,624万円	5億2,399万円	225万円

写真は4月に就航した「悠風」。

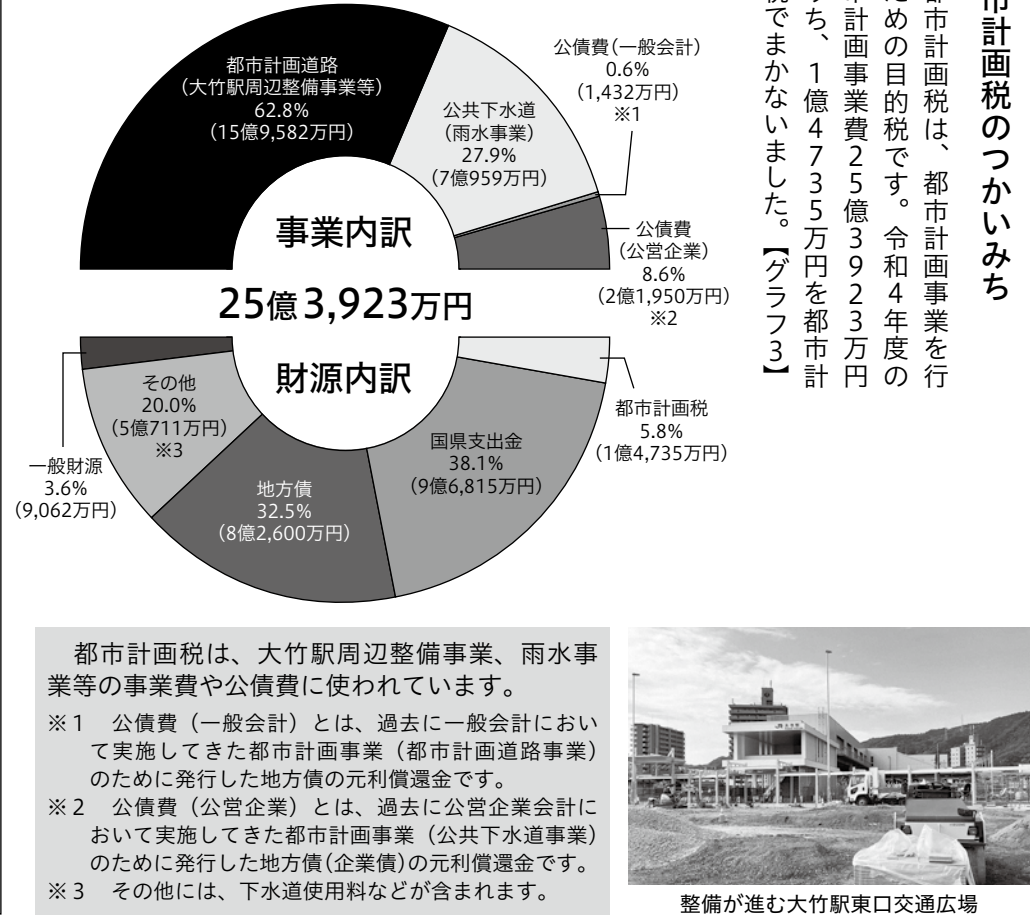
令和4年度の決算書（A4版296ページ）を1500円で販売しています。また、市立図書館

問い合わせ 企画財政課 ☎5921121

や情報公開コーナー（市役所2階）、市のホームページでもご覧になります。

決算書を販売しています

【グラフ3】都市計画事業の内容



都市計画税のつかいみち

都市計画税は、都市計画事業を行うための目的税です。令和4年度の都市計画事業費25億3923万円のうち、1億4735万円を都市計画税でまかいました。【グラフ3】

【表3】令和5年度上半期の財政状況（繰越分を含みます）			
令和5年度上半期（4月～9月）の、一般会計・特別会計の予算執行状況（9月30日現在）は、表のとおりです。			
会計別	予算現額		
	歳入状況	歳出執行状況	
一般会計		185億189万円	
		41.4%	30.4%
特別会計	国民健康保険	29億4,756万円	35.0%
	漁業集落排水	8,474万円	1.3%
	農業集落排水	5,371万円	3.3%
	港湾施設管理受託	7,257万円	70.4%
	土地造成	9億3,878万円	3.0%
	介護保険	28億9,728万円	37.7%
	後期高齢者医療	5億5,422万円	33.9%
			41.0%

健全化判断比率による現状

自治体の財政状況を判断する「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の4つの指標は、全て「健全」でした。（一）内は昨年度の数値です。

「実質赤字比率」

早期健全化基準 13・83%

財政再生基準 20%

単年度の収支における、普通会計の歳出超過の割合を示します。

赤字はありません。

「実質公債費比率」

13・5%（13・8%）

早期健全化基準 25%

財政再生基準 35%

標準的な税収などに対する借入金の返済などの割合を4年度の平均値で示します。

前年度と比べると、普通交付税の増加などにより改善しました。

「将来負担比率」

123・1%（136・8%）

早期健全化基準 350%

財政再生基準 設定なし

標準的な税収などに対する、普通会計と公営事業会計に第3セクターなどの純負債を加えた負債がどの程度あるかを示します。

前年度と比べると普通交付税の増加や基金の増加などにより改善しました。

令和5年度上半期（4月～9月）の、一般会計・特別会計の予算執行状況（9月30日現在）は、表3のとおりです。

【表4】令和4年度に実施した主な事業 内部経費の削減に努めながら、第1期大竹市まちづくり基本計画の個別施策として掲げる重点施策を中心とした事業に取り組みました。

(4) 安全・安心

事業名	事業概要	事業費
一般河川（水路）浚渫事業	緊急浚渫推進事業計画に基づき、土砂堆積などにより流下機能が低下しており、早期に流下能力の確保が必要な河川のしゅんせつを行っています。令和2年度から着手し、令和4年度は、恵川（玖波工区）、大膳川、新町川、三ツ石川のしゅんせつを実施、入川排水路、油見北栄排水路、元町南栄排水路、中浜1号排水路に着手しました。	1億4,639万円
急傾斜地崩壊対策事業	市内の急傾斜地崩壊危険箇所について、宅地背面の崖面崩壊を防ぐために擁壁設置などの斜面崩壊防止対策工事および測量設計を実施しました。	3,472万円

(5) 健康・福祉

事業名	事業概要	事業費
出産・子育て応援事業	全ての妊婦、子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境づくりのため、妊娠期から子育て期まで、身近で相談に応じ、さまざまなニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援と、妊娠届け出時に5万円、出産届け出時に5万円の出産・子育て応援給付金を支給する経済的支援を一体的に実施しました。	1,793万円
こども医療費助成事業	子どもの健やかな成長を支えるため、子どもの医療費の自己負担分を一部助成しました。県の補助制度に準じて未就学児の入院・通院に対して助成を行うとともに、市独自の制度として、県の補助制度対象外である、保護者の所得が基準を超えるものや、小学校入学から中学校卒業までの子どもの入院・通院に対しても助成を行いました。	5,408万円

(6) 自治・行政運営

事業名	事業概要	事業費
阿多田フェリー新船建造事業	離島航路の利便性向上と安全で安定的な運航を確保するため、阿多田～小方航路のフェリーの新船建造を令和3年度から着手し、令和4年度に建造が完了しました。新船「悠風（はるかぜ）」は、令和5年4月1日から就航しています。	4億1,937万円
地域活動促進事業	住みよい地域社会づくりのため、自治会の運営および活動拠点である地区集会所の改修などを支援したほか、単位自治会などの運営を支援するため、補助金を交付しました。	2,136万円

(1) 教育・文化

事業名	事業概要	事業費
大竹小学校プール建設事業	老朽化している大竹小学校と大竹中学校のプール施設を解体し、大竹小学校に小中学生が共同で利用できる新たなプール施設を整備するため、令和4年度に両校の旧プールの解体工事を行いました。また、令和4年度から令和5年度にかけて新たなプール施設の建設工事を行いました。	6,123万円
学校給食費支援事業	市立小中学校に在籍する小中学生の保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、令和4年10月以降の学校給食費の半額支援を実施しました。	2,001万円

(2) 産業・雇用

事業名	事業概要	事業費
産業振興奨励事業	産業の振興のため、新たに設備投資などを行った（大企業：増加課税標準額：5億円以上、中小企業：増加課税標準額：5千万円以上）事業者に「産業振興奨励金」を交付しました。	256万円
消費生活相談事業	市民の消費生活の安定と向上のため「市消費生活センター」で、消費生活相談員による相談業務（週2日）や、消費生活に関する啓発活動を行いました。また、振り込め詐欺などの特殊詐欺や悪質な勧誘電話などの被害を未然に防ぐため、市に居住する高齢者を対象に「迷惑電話防止機能付」電話機などの購入費の一部を補助しました。	232万円

(3) 生活・環境

事業名	事業概要	事業費
大竹駅周辺整備事業	市の玄関口であるJR大竹駅へのアクセスや駅周辺の回遊性の向上を図るため、駅の橋上化、東西地区を結ぶ自由通路の整備、東西広場の改良・整備を一体的に進めています。令和4年度は自由通路などの本体工事を行い、令和5年2月に自由通路と橋上駅の供用を開始しました。また、東西広場の整備の準備工事として仮設ロータリーなどの整備を行い、東口交通広場整備工事と西口駅前広場に隣接する市道拡幅・無電柱化工事に着手しました。	15億9,280万円
晴海臨海公園整備事業	晴海臨海公園では、子どもから高齢者まで多様な人々の憩いの場となるようファミリーゾーン・シーサイドゾーンの整備、公園西側部分の駐車場や園路、排水設備などの整備を進めています。令和4年度は、令和3年度に引き続き西側園路を整備したほか、隣接地に建設された美術館や県が整備する港湾緑地との接続や公園内の回遊性向上のために、北側園路の整備を実施しました。また、西側エリアに不足する駐車場や園路などを整備するための設計を行いました。	1億1,226万円